



■この広報紙にあなたが写って  
いましたら、総務課企画係(☎82-4111内線 215)へご連絡ください。  
写真をさしあげます。

お誕生日おめでとう  
3月生まれ

申し込みは毎月15日まで(3歳まで)

三人兄弟の末っ子のせいか、とにかく甘えん坊でフンパクです。でも元気なのが一番。将来は、人に迷惑をかけないすなおな子になってほしいですね……とお母さん。



ありきかたかや  
有坂卓也ちゃん  
(石瀬・利男さんの二男)  
昭和61年3月31日生まれ

うさぎの人形が大好きなんです。それに、いつもお姉ちゃんと遊んでいるせいかおませちゃんですね。名前のように誠実に一歩一歩、歩んでいくような娘になってほしい……とおばあちゃん。



しまあのみ  
島崎歩実ちゃん  
(和納8区・恵一さんの二女)  
昭和61年3月13日生まれ



# 力を合わせて、それっ!ペッタン

-----地域の人たちと楽しい交流-----

先月四日、間瀬小学校で毎年恒例の「もちつき大会」が開かれました。このもちつきは、児童と地域の人たちの交流を深めようといわれて行われているもので、この日は父兄やお年寄り約五十人が小学校を訪れ、もちつき大会を楽しみました。会場の屋内運動場には、大きなホウスが持ち込まれ、児童たちは用意されたもち米をペッタン、ペッタンとお母さんたちと力を合わせてつきあげました。つきあがったおもちは、さつそく、きなこ、納豆、油揚げなどで味つけされ参加者全員で舌鼓。ホカホカのおもちとこの楽しい催しに、児童たちは大喜びでした。

# 元気よく「鬼」退治!

「鬼は外、福は内」とにぎやかな豆まき



「鬼は外、福は内」と先月三日和納保育園で、保母さんと、園児総出の楽しい豆まきが行われました。この日は、子供たちを型どった人形の中から、お腹の悪い虫に粉した鬼が「悪い子はいないか、泣き虫はいないか」と大声で登場すると園内はもう大騒ぎ。さつそく園児たちは悪い鬼めがけて豆を投げつけ、元気な声をあげながらはしゃぎ回っていました。



楽しみながら?厄落し  
百年以上の伝統を誇る「青龍寺の豆まき」

一方、こちら石瀬の青龍寺(和田海浄住職)でも、古くから続く節分の豆まき行事が先月三日に行われました。この豆まきは、同寺が「地区の人たちの厄落としと冬の健康増進に役立ってもらおう」ともう百年以上も前から続けているもので、この日は豆をはじめ供物などが一緒にまかれ、集まった子供やお年寄りたちはこの伝統の催しに寒さも忘れ、縁起物を拾っていました。



# 自己記録への挑戦だ

人気の岩室小学校「なわとび大会」

「がんばれ、もう少し」と大きな喚声が響く岩室小学校屋内運動場。先日二十一日、同校で全校なわとびコンクールが開かれました。このコンクールは「体を鍛え、元気でたくましい子に育てたい」と六年前から続けているもので、種目は個人と団体競技が行われ、みんな日ごろ練習した成果を披露しようと場内は熱気でいっぱい。そして自分の持つ記録を更新しようとがんばっていました。

# こめひと

No. 17

# 内藤逸子さん(和納6区)

今月の「この人」は、村体育指導委員のメンバーの一員として、スポーツ振興のため村内で開催されるスポーツイベントなどの企画、運営に参加しながら、自らスポーツで汗を流すのが大好きという内藤逸子さん(和納六区・41歳)をご紹介します。

「自分自身スポーツが大好きですから、手伝いというより一緒に楽しんでいきますよ」と照れくさそうに話す内藤さん。ところで、この内藤さんらの体育指導委員の活動というと、年間を通して各種スポーツ大会など数多くありますが、そ

声がかかると聞いていたんですが、いまでは照明がついていない日もあったりして、ちょっと寂しいですね」と最近のスポーツ熱の陰りを寂しがる内藤さん。でも、そこはスポーツ好きの内藤さんから指導委員さんたち、定期的な会合では、いつもスポーツ活動を活性化させようといろんな話し合いがされるといいます。



スポーツなら何でもこなす内藤さん。昨年、体育指導委員として体育祭などでは大活躍。

そもそもこの体育指導委員、一般にはあまり知られていませんが、昭和三十五年に発足以来、村内のスポーツイベントなどの開催には、企画、立案の助言者として、また大会の準備、運営にと積極的な活動をしているメンバーです。

その中でも、村民歩け歩け大会、村民体育祭それに昨年初めて行われたというカーニバルなどでは、その準備、運営に先頭となって活躍しています。もういまではこの指導委員さんたちが、村内の各種イベントには欠かせない人材となっています。

「いままでは、走る、走ることだといっています。でもなかなか難しいですね」と話す内藤さんの目は輝いています。そんな夢を持ちながら活動する内藤さんの、いま一番の楽しみは、走る「ことだといっています」。

一人である内藤さんは、持ち前の行動力や運動神経は自他ともに認めるスポーツウーマン。バレーボールにジョギング、ジャズダンスと何でもこなしてしまうスポーツ好きなお母さんです。そんな行動力をもつ内藤さんは、体育指導委員にはピッタリと、昭和六十一年にメンバーの一員として選ばれました。

「体育指導委員だなんて、ちょっとはざかしいですね。人にスポーツを教えるなんてことはできませんし、ただ一緒にや

「できることなら、村内に走るこの好きな人たちのクラブでもできたら……」と熱望する内藤さんでした。